

2023/1/31

横浜市立市ヶ尾中学校 学校だより 1月号 Vol.142

市ヶ尾中Times

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/ichigao>

<学校教育理念>

自立貢献

発行者：校長 竹下 恭子
市ヶ尾中 Tel 045-973-3400

日常の積み重ねを改めて大切に 令和5年もよろしく願っています

「厳冬」という言葉が実感として感じられる毎日が続いていますが、今週末には「立春」を迎えます。厳しい寒さを乗り越えた先にある「春」が待ち遠しい日々です。

先日手に取った詩集に印象的な「言葉」が載っていました。

うつくしいものの話をしよう。いつからだろう。

ふと気がつくと、うつくしいということばを、ためらわず口にするのを、誰もしなくなった。

そうして、わたしたちの会話は貧しくなった。うつくしいものをうつくしいと言おう。

<中 略>

過ぎてゆく季節はうつくしいと。さらりと老いていく人の姿はうつくしいと。

一体ニュースとよばれる日々の破片が、わたしたちの歴史と言うようなものだろうか。

あざやかな毎日こそ、わたしたちの価値だ。 (長田弘「世界はうつくしいと」より)

冬の早朝。澄んだ空気の中、学校付近の歩道橋から富士山を見た時の心情と思わず重なりました。令和4年度も残り2か月余り、年度のまとめの時期になります。朝の何気ない人とのあいさつや互いに交わす会話、クラスや学年の仲間と過ごす瞬間、そうした日常での当たり前を大切にしていきたいものです。「すばらしいな」「すてきだな」と感じたら、ためらうことなく自分の気持ちを声に出して言葉にすることは時には勇気も必要ですが、声に出すと清々しい気持ちになります。生徒の皆さん、今年度の仲間と過ごす時間をかみしめながら毎日の「発見」を大事にしてください。保護者の皆様、引き続き市中生たちの学校生活、教育活動へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

校内書初め展開催 一筆に思い込め力作揃う！

※個人情報保護により作品の Web 上での公開は控えさせていただきます。

今年も校内書初め展が開催されました。「不言実行」「理想の実現」「燃ゆる思い」など、力強い新たな決意を込めた文字が教室一面に並ぶ様子は、毎年壮大で、1年の始まりを実感する眺めです。クラス展示終了後、金賞と銀賞の作品並びに区書写展、市書写展に出品した作品が昇降口に掲示されています。

学校図書館よりおすすめ本紹介

「人工知能と人間の未来～王将戦が面白い～」

学校司書 梶村 ちほ

2045年には人工知能によって社会や経済が大きく変わると予想されています。人工知能とは学習・推論・判断といった人間の知能のもつ機能を備えたコンピューターシステムで、ビッグデータから自動的に学習しコンピューターの計算による「最適解」を私たちに提案してくれます。それが最も先行して発達しているのが将棋ソフトとされています。将棋の世界ではAIを搭載したソフトが「最適解」を瞬時に導き出すまでに進化し、プロ棋士の「指し方」が変わってきているそうです。

年が明けて第72期王将戦七番勝負が始まりました。20歳の藤井聡太王将はAI時代の将棋ソフトと共に育ち将棋ソフトを最大限に利用して研究しています。対する52歳の羽生善治九段の近年の敗因はAI全盛の現代将棋に対応できていないことだといわれますが、羽生さんがAI時代の到来に備えていなかったわけではありません。中学3年生の国語の教科書に羽生さんの「人工知能との未来」という一文があります。この中で羽生さんは「現在、人工知能を搭載した将棋ソフトと人間の棋士との間で起きている事象が、今後の社会の在り方を先取りしているように思える」と書いています。羽生さんは教科書の文章に至るまでにAI将棋ソフトの開発に関心を寄せて取材や研究を重ね、いくつかの本を出版しています。将棋や囲碁のソフトの進化と人工知能のもたらす未来像を取材した『人工知能の核心』(羽生善治2017年NHK出版)は取材の過程がテレビ番組になり、「AIはもう、こんなことまでできるのか」と衝撃を受けたことを覚えています。また、IPS細胞研究の第一人者である山中伸弥教授との対談『人間の未来 AIの未来』(山中伸弥 羽生善治2018年講談社)では「人間は将来AIに支配されるのか」「人間にはできるけれどAIにはできないことは何か」などの興味深い問いについて語り合っています。2045年、中学生のみなさんは30代半ばの働き盛りです。「AIをどう利用し、コントロールして生きていくか」はわたしたち共通の課題です。



青葉区合同学芸会 3年ぶりに開催（個別支援学級）

1月25日(水)個別支援学級青葉区合同学芸会が緑公会堂で開催されました。感染症拡大により、2年間公会堂での実施は見送られたため、集合開催は久しぶりでした。本番の発表に向けて、担任の先生とともに何度も練習を重ねていました。市ケ尾中学校の演目は朗読劇、「SDGsと『もののけ姫』」です。

「私達 市ケ尾中では、SDGs17個のゴールの達成を目指し、持続可能な社会に向けて、様々な活動をしています。本日は、持続可能な社会を目指すヒントがたくさん詰まったスタジオジブリの『もののけ姫』を朗読劇を交えて紹介します」というナレーションの朗読からスタートし、自然と人との共存を描いた物語と、気候変動や感染症まん延など現在で起きている様々な課題に気付かせる朗読劇を披露しました。登場人物になりきった朗読、それを支える演奏、効果音など、クラスみんなの力が結集したすばらしい演目でした。

合同学芸会のテーマは「照らせスポット みんなが主役 みんなに拍手」。まさに、テーマどおりの一人ひとりが主役の発表でした。この経験がきっと日々の学習や仲間とのつながりなど、次のステップにつながると感じました。



■ 2月のスクールカウンセラー開室日は、2日(木)、9日(木)の2日間です。相談時間は9:30～17:00(予約制)専任や担任の先生または、直接SC用電話(045-972-0335)でお申し込みください。